

# 30%マージン運動の継続など 8つの事業計画を掲げる

## 大阪 組合だより

発行所

〒530-0047 大阪市北区  
西天満4丁目10番7号

大阪府書店商業組合

電話 06-6361-5577  
FAX 06-6361-3220  
発行責任者 深田 健治  
広報委員長 東 正治



理事長  
深田 健治

大阪府書店商業組合（理事長深田健治）は5月20日に令和3年度通常総会を大阪書店組合会議室にて組合員108名（委任状を含む）が出席し開催した。

総会は堀博明（堀廣旭堂）副理事長の司会で進行した。

開会にあたり、深田理事長から「大阪ではコロナで死者が5000人を超したという話が出ていますが、皆様は3回目のワクチンも済まされた方も多いと思います。感染予防を含めて健康に留意しながら、商売も頑張っていたいただきたい」と

大阪府書店商業組合  
令和3年度通常総会

長は、昨年10月から楽天ブックネットワーク（RBN）と日本出版販売の協業範囲が拡大したことを受けてRBN帳合90店を対象にアンケート調査を実施。結果を受けてRBNから書店の不安や問題点解消の説明を受けたこと等を説明した。

### 事業計画について

事業計画としては、①助け合いながら、コロナの防衛策をとる②RBNと日販との協業を受け、より良い取引環境を目指していく③30%マージン運動の継続と「キャススレス決済アンケート」の結果を受けて手数料の削減ないしは補填の提案④小学館の2誌の販売協力金制度の継続のための書店の協力⑤日本出版インフラセンター（JPO）、日本書籍出版協会、日書連近畿ブロック会の共催で大阪市中央公会堂で出版情報登録センター（JPRO）の書誌情報を閲覧できるポータルサイト「BookspRO」の説明会の開催⑥読書推進、「本の帯創作コンクール」「読書ノート」運動⑦公共図書館・学校図書館納入問題⑧組合財政の健全化を掲げた。

### RBN帳合90店を対象にアンケート調査を実施

事業報告として深田理事長

最後に戸和繁晴（トウワックス）副理事長が閉会の挨拶をして締め括った。

## ウィズコロナのなか、 書店が生き抜いて いくために

大阪府書店商業組合 理事長  
深田 健治



全国的にコロナ感染者が増加傾向にあり、第7波が懸念されています。昨年までのような行動制限は緩和され街中には多少活気が戻ってきているようですが、書店の店頭はというとコロナ前よりも厳しい状況ではないでしょうか。

BEIPAL9月号の企画が発表

JPIC業界課題と解決するための合同委員会より、書店収益改善の企画として小学館よりBEIPAL9月号の企画が発表されました。今回の申し込みはすでに締め切られていますが、これからもこういった企画に期待しています。

秋の読者還元祭について

昨年度より書店くじが二次元コードでの応募になりました。残念ながら少し応募数が減少しているようです。春の読者還元祭では大阪で応募のあった方の約1/3が当選と言う結果になっています。

「書店議連」の動きに注目

「全国の書店経営者を支える議員連盟」の動きにも注目しています。

週刊ポスト、女性セブンの販売協力金について

海外の書店事情を見ると、出版物への軽減税率やネット書店の送料無料化を禁止など書店を守る女性セブン、週刊ポスト

帯コン表彰式の開催を検討

本の帯コンクールにつきましては、ここ2年表彰式が開催できていませんが、今年は規模を小さくしてでも開催したい方向で検討中です。

各お店が自店にとって有効な企画、情報をとりこみ、活用していただきたいと思えます。

BooksPRO 勉強会を開催

7月6日にBooksPRO勉強会が開催されました。BooksPROでは